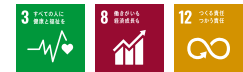


サプライチェーンにおけるサステナビリティ活動の展開 (環境)



マテリアリティの2019年度目標と実績

○：計画通り △：遅れあり

主な取り組み内容	2019年度目標	指標	2019年度実績	自己評価
サプライチェーンCSRの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライヤー CSRガイドラインを当社海外生産拠点へ展開 ・取引先のCSR第三者評価実施の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライヤー CSRガイドラインの趣旨浸透 ・取引先におけるCSR第三者評価の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライヤー CSRガイドラインをMMTh/MMKI/MMPCよりそれぞれの取引先へ展開済 ・取引先に対して「第三者評価」の趣旨説明を実施。評価開始済。 	○

基本的な考え方

クルマは、取引先で開発・生産される多種多様な材料・部品で構成されています。そのため、三菱自動車は、自らの事業活動のみならず、材料・部品の製造から納入に至るすべての過程において、環境への影響を低減することが重要と考えています。対応が不十分な場合、各国・各地域の規制への抵触やレピュテーション低下により、事業に影響を及ぼす可能性があります。

当社は、「環境への負荷低減に継続的に取り組まれている取引先から、環境負荷の少ない材料・部品を調達する」との基本的な考え方にもとづき、取引先と締結する取引基本契約書には、取引先はグリーン調達ガイドラインを遵守願うと明記しています。「サプライヤーCSRガイドライン」、「グリーン調達ガイドライン」は、取引先が常にアクセス可能なサプライヤーポータルサイトに掲載して展開するなど、サプライチェーン全体の環境負荷低減に努めるとともに、環境面における事業へのリスクに対応しています。

グリーン調達ガイドラインの展開

取引先に対して、環境マネジメントシステムの外部認証取得・更新、環境負荷物質の管理、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、ライフサイクル環境負荷把握のためのLCAデータ提出、取引先の事業活動における環境負荷低減の取り組み、物流に関わる環境負荷の低減を求めています。

日本はもとより、主要海外拠点である、ミツビシ・モーターズ(タイランド)・カンパニー・リミテッド(MMTh)、ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア(MMKI)、ミツビシ・モーターズ・フィリピンズ・コーポレーション(MMPC)でも各国の実状、各拠点の業務内容にあわせてグリーン調達ガイドラインを作成し、それぞれの取引先に展開しています。



グリーン調達ガイドライン

IMDSを通じた材料・環境負荷物質データの収集

当社は、IMDS(International Material Data System)を活用し、グリーン調達ガイドラインにもとづく材料・部品の環境負荷物質データなどの開示を取引先にお願いしています。また、取引先には環境負荷物質の管理体制を構築いただいています。

これらにより、新型車および継続生産車に使われている環境負荷物質について、使用規制への適合性を確認するとともに、使用量の低減を確認しています。

取引先とのコミュニケーション

当社の取引先にはグリーン調達ガイドラインの要求事項をはじめ、様々な取り組みにご協力をいただいています。当社は、取引先の確実な取り組みには継続的なコミュニケーションが重要と考え、取引先に参集いただく「調達方針説明会」などの場で、環境対応の重要性を説明し、サプライチェーン全体で環境負荷低減に取り組めるようコミュニケーションに努めています。